

令和4年度 第1回 藤沢市立富士見台小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2022年5月27日（金）10時～

場 所 富士見台小学校 ランチルーム

出席委員	<p>横山 俊明（会長・長後共育フォーラム会長） 神尾 康子（副会長・富士見台小学校校長） 松森 裕二（長後市民センター長） 梅田 亮（富士見台小学校前PTA会長） 白石 つや子（民生委員児童委員） 薩田 早苗（社会体育振興協議会） 大塚 富美子（前学校評議員 青少年育成協力会） 田中 一次（元中学校長） 中野 伸哉（社会福祉協議会地域福祉課地域支援担当 CSW 長後地区担当） 太田 信弘（富士見台小学校教頭） 吉田 功（教育総務課）</p> <p style="text-align: right;">以上11名</p>
次第	<p>1. 開会 2. 委嘱状等の交付 3. 自己紹介 4. 会長ならびに副会長の選出 5 議題 （1）学校運営協議会制度の説明（富士見台小学校教頭） （2）令和4年度富士見台小学校概要について（富士見台小学校校長） （3）令和4年度富士見台小学校運営方針について（富士見台小学校校長） （4）その他 6 その他 今年度の会議日程（予定） 7 閉会</p>
協議内容	<p>（意見等） * 5.（3）について ・ 田中委員・・・神尾副会長の学校運営方針にバイタリティを感じる。それが先生方にもつながり、そして子どもたちにもつながることを感じた。 ・ 梅田委員・・・運営方針の表の見方について。3層になっているがそれぞれ何を表しているのか。 ・ 神尾副会長・・・一段目は児童に対する手立て。二段目は教職員が取り組む手立て。三段目は家庭や地域に対する手立てと考えている。 ・ 梅田委員・・・プロの教職員集団というのはすごく大事なことだと思っている。神尾副会長はプロ意識というのをどのように捉えているのか。 ・ 神尾副会長・・・経験年数にも幅がありベテランもいれば2年目3年目の経験の浅い教員もいる。しかし、子どもの前にたったら一人の担任であり、自分が自信と責任をもって、子どもたちに教えなければいけないと思っている。経験年数が浅くてもベテランでもやはり担任として自信をもって前に立たなくては</p>

いけない。そのための準備はプロとしてきちんとしていかななくてはいけないと感じている。

これからの教師像はファシリテーターになっていかななくてはいけない。子どもたちの学びを調整したり、コーディネートしていけるような教員でなくてはいけないと思っている。子どもたち自身が疑問や課題をもったり、子どもたち同士で対話しながら、どうやったらそれが課題解決できるか、どうやったら学んでいけるかなど、いろいろなツールを使って学ばせていくことも必要。どれだけ知識を身に付けたかが大事なのではなく、得た知識をどうやって生かしていくか。何が新たに作れるかということが大事なのではないか。新しい教師像についても自分たちを自己改革していかななくてはいけない。それがプロフェッショナルとしての在り方と思っている。新しい教育のニーズに応じて自分も勉強して教師自身も成長して行ってほしいと考えている。

- ・梅田委員・・・方向性に共感理解できる。教職員の評価にも神尾副会長のエッセンスを入れてほしい。エッセンスを入れれば教職員もその方向性に進むのではないか。
- ・横山会長・・・入試もこれからは発想力に重点が置かれていくと聞いている。

次回開催日程 2022年 7月13日(水) 10時～
場所 富士見台小学校 ランチルーム